



2022.06

MUNICIPAL TSURUGA HOSPITAL MAGAZINE

INDEX

- ・事業管理者のご挨拶
- ・副院長のご挨拶
- ・新任医師・研修医のご紹介
- ・食生活と運動療法で便秘改善

新体制の市立敦賀病院よりみなさまへ

令和4年4月より市立敦賀病院の病院事業管理者兼病院長に就任しました太田肇です。身に余る光栄であるとともに、責任の重大さを痛感しています。

私は平成6年10月から平成17年3月まで10年6か月間、市立敦賀病院消化器内科医として勤務し、医師としての礎を築かせていただきました。また、医療制度改革や新型コロナウイルス感染症の流行などにより自治体病院を取り巻く環境が大きく変化した平成31年度から3年間、病院長として地域の皆さま、行政に携わる皆さまのご協力をいただき、経営にも携わらせていただきました。長年お世話になっております二州地区への感謝と、今後も皆さまが安心して生活するためのお手伝いをさせていただきますという強い思いか

ら、今回事業管理者を引き受けさせていただきます。

先般の新型コロナウイルス感染症につきましましては、感染症病棟の拡充と診療体制の確立、保健所から依頼の行政検査や発熱外来の設置、またワクチン接種業務にも病院が一丸となり行ってきました。感染拡大が続く中、看護師をはじめとする職員一同は細心の注意を払いながら感染防御に努めてまいりましたが、残念ながら3月下旬に院内の部署での感染があり、5月上旬まで一部の病棟の入院制限を行うこととなりました。患者さま・ご家族の皆さまには、日頃よりコロナ禍での診療や面会制限などにご協力をいただいている中、さらにご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳ございませんでした。この原稿を書いている5月

中旬現在では、アフターコロナにはほど遠く、ウィズコロナをめざして診療をより安全に継続していくことが課題と思われれます。

コロナ禍になる前からの当院の診療における基本指針、すなわち救急患者・救急車・紹介患者は決して断らない、幅広い総合医療の提供、自己研鑽と研修医の育成、地域医療機関との連携および知識・情報共有化の推進、災害発生時にも対応できる医療体制の確立など、これらの指針を踏襲すべく職員に日々啓蒙しています。

地域医療構想とは、これからの人口減少に対して、限られた医療資源を効率的に配備して、あまねく安心した医療が受けられるように計画されたものと記されています。二州地区における人口減少も例外ではなく、確実に忍びよって

きています。皆さまが安心できる医療を提供するために、地域医療構想や職員の人材確保をはじめ、働き方改革、病院の役割分担など、多くの課題に職員一丸となってまい進してまいります。

看護師をはじめとする職員一同は、コロナ禍において多くのストレスを感じています。その中で皆さまからの温かい励ましのお言葉や、心のこもったご寄付は職員の間日からの診療の糧となり、パワーの源となっております。本当にありがとうございます。当院が二州地区の地域医療の核として、患者さまのニーズに少しでも近づけるように、さらに努力してまいります。皆さまにおかれましては、これからも変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしく申し上げます。

病院事業管理者 兼 病院長

太田 肇 / Hajime Ota



目まぐるしく変化する

医療環境に適応し

職員が笑顔で働ける環境作り

副院長

新井 良和

/ Yoshikazu Arai



2012年に市立敦賀病院に脳神経外科医として赴任し、まる10年が経ちました。この間、24時間365日断らない脳疾患救急診療を行ってきましたが、赴任当初は脳外科医2人体制であったため、毎日が戦場のようなものでした。現在は4人体制となりましたので、チーム医療を行いながら、最新のガイドラインに沿った質の高い診療を心がけています。これまで数多くの貴重な症例をご紹介して頂きました地域の医療機関の先生方に、心より感謝申し上げます。今後も最先端・最前線の脳卒中診療を

行っていきたいと思います。またこの10年間で当院自身も大きく変化を遂げました。経営形態の見直しを行い、一部適用から全部適用へ移行、急性期一辺倒でやってきた過去から回復期を兼ね備えた病院（地域包括ケア病棟開設）へ、さらには在宅医療部門として訪問看護ステーション「つなぐ」を開設し、地域包括ケアの実現に向け、治す医療から支える医療へ、病院完結型医療から地域完結型医療へと方向転換を図ってきました。進化論で有名なダーウィンも「最後に生き残るの

は、最も強い者でも最も賢い者でもなく、最も変化に対応できた者だ」と言っています。病院も組織として、目まぐるしく変化する医療環境に、しっかりと適応していくことが何より重要だと考えています。私自身は、2015年4月に医療支援部長、そして2019年4月に副院長を拝命し、最近では脳神経疾患よりも病院運営に携わる時間の方がずっと多くなっており、複雑な心境的です。ただ今の私に課せられた最大の役割は、病院職員が笑顔で、やりがいを持って働ける病院、そのため

の環境作りだと考えています。それが実現すれば確実に、地域の皆様が「敦賀病院があるから安心、診てもらってよかった。」、職員が「敦賀病院に勤めてよかった。」と言ってくれる病院になれると信じています。当院には、心優しく、真面目で、信頼できる職員がたくさんいますので、彼らとともに院長を支え、地域の医療ニーズに合わせた温かい医療を提供していきたいと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



今年4月に当院に赴任し、副院長を拝命いたしました。生まれも育ちも福井県で、福井医科大学卒業後、同大学第一外科に入局し、外科医師として医療に携わってまいりました。前任地でありました舞鶴共済病院では、福井を離れ20年間勤務しておりました。当院赴任は久しぶりに福井の地に戻ってきた感があります。職員や患者さん、また町の人たちのおしゃべりを耳にしますと、そのイントネーションや語尾が特徴である福井弁が脳内に染み渡り、身体が福井に包まれる感じがして、ほのぼのと

した気持ちになり、心が満たされ、とても安堵します。ところで、私は数年前から早朝散歩をしているのですが、転勤後4月某日に当てもなく散歩していますと桜の綺麗な金崎宮にたどり着きました。参道を登り、何気なくおみくじを引いてみると、なんと大吉。なんとまあ、私の敦賀デビューを神様が見守って、祝ってくださいっているのだと自分勝手に解釈して、これで私のモチベーションは上げ上げです。敦賀の人もよし。神様もよし。というか、様々です。有難や、有難や。

副院長

竹内 一雄

/ Kazuo Takeuchi

地域の医療をささえ 信頼され、温もりのある病院

さて、ここで敦賀病院の副院長として、私の考えを述べさせていただきます。これからのわが国の医療の構想として、地域医療構想と地域包括ケアシステムが謳われています。これは今後ますます顕著になる高齢化社会において、地域での医療の最適な役割を決めていくものですが、当院はこの中で、高度急性期医療を行い、尚且つ高齢者の皆さんのケアも担う病院でもあります。早い話が、市民の皆様の主たるニーズに幅広く一手に引き受ける病院です。そのために

も当院の理念であります「地域の医療をささえ、信頼され、温もりのある病院」を今以上に築き上げることがとても大切となります。院長先生を筆頭に、職員が一致団結してその目的に邁進すること、それができれば自ずと市民の皆様に、安心・安全の高度な医療を提供できると信じております。そのための私は縁の下の支えになつていきたいと思えます。また、私のもう一つの顔は外科医です。私の外科医としてのモットーは「愛される外科」です。患者の皆様からも開業医の先生方からもまた職員からも、皆様から愛される外科チームを作り、地域医療に貢献することが使命であると考えております。我々チームの皆様をリスペクトし、医療に携われれば、きっといつかは皆様からリスペクトされ、愛されるようになるのではと、この思い一つで、ずっと外科医をやっています。これまでの外科医としての経験、スキルを余すことなく提供し、お役に立つことができればなと思っております。腹部疾患(胃・腸・肝臓・胆道・膵臓など)の手術を始めとする治療は、何でもこなしてきました。我々外科チームを大いに頼ってください。なぜなら…私には神様の御加護もありますので。

新任医師・研修医のご紹介

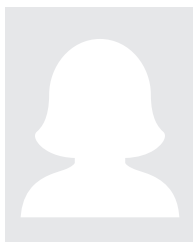
2022年4月、市立敦賀病院に、新任医師19名、研修医3名が赴任しました。
それぞれの専門、所属学会や資格についてご紹介します。

NEW DOCTERS

外科 医長

山田 起三子

やまだ きみこ



専門分野

一般外科

所属学会・資格

- ・日本外科学会(外科専門医) ・日本消化器外科学会
- ・日本消化器病学会 ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本癌治療学会 ・日本臨床外科学会 ・日本胃癌学会
- ・日本外科系連合学会 ・日本内視鏡外科学会
- ・北陸外科学会

循環器内科 医長

竹内 一喬

たけうち かずたか



専門分野

循環器内科

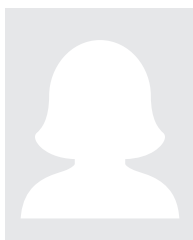
所属学会・資格

- ・日本内科学会(認定医)
- ・日本循環器学会

外科 医師

眞柄 里衣

まから りえ



専門分野

一般外科

所属学会・資格

- ・日本外科学会 ・日本消化器外科学会
- ・日本外科系連合学会 ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本臨床外科学会 ・日本胃癌学会 ・日本消化器病学会

外科(副院長)

竹内 一雄

たけうち かずお



専門分野

・一般外科 ・消化器外科
・乳腺外科

所属学会・資格

- ・日本外科学会(専門医) ・日本消化器内視鏡学会(専門医)
- ・日本消化器外科学会(認定医) ・日本臨床外科学会
- ・日本外科系連合学会 ・日本消化器病学会
- ・日本胃癌学会 ・日本乳癌学会 ・日本癌治療学会
- ・日本臨床栄養代謝学会 ・日本緩和医療学会

整形外科 部長

井上 啓

いのうえ けい



専門分野

整形外科一般

所属学会・資格

- ・日本整形外科学会(専門医、認定脊椎脊髄病医)
- ・日本脊椎脊髄病学会(指導医)
- ・中部日本整形外科災害外科学会

外科 部長

藤田 邦博

ふじた くにひろ



専門分野

一般外科、消化器外科

所属学会・資格

- ・日本外科学会(専門医) ・日本消化器内視鏡学会(専門医)
- ・日本消化器外科学会 ・日本胃癌学会
- ・日本脾臓学会 ・日本癌治療学会 ・日本臨床外科学会
- ・日本外科系連合学会 ・日本移植学会

内科 医師

近澤 亮

ちかざわ りょう



専門分野

呼吸器内科

所属学会・資格

- ・日本呼吸器学会
- ・日本内科学会

整形外科 医長

片岡 大往

かたおか ともゆき



専門分野

整形外科一般

所属学会・資格

- ・日本整形外科学会(専門医) ・日本股関節学会
- ・日本人工関節学会 ・日本骨・関節感染症学会

外科 部長

杉森 順二

すぎもり じゅんじ



専門分野

一般外科、消化器外科

所属学会・資格

- ・日本外科学会(専門医) ・日本消化器病学会(専門医)
- ・日本腹部救急医学会 ・日本消化器外科学会
- ・日本癌治療学会 ・日本静脈経腸栄養学会
- ・日本消化器内視鏡学会 ・日本臨床外科学会

消化器内科 医師

川根 太郎

かわね たらう



専門分野

消化器内科

所属学会・資格

- ・日本内科学会 ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本肝臓学会 ・日本消化器病学会

麻酔科 医師

宗石 啓和

むねいし ひろかず



専門分野

麻酔全般

所属学会・資格

- ・日本麻酔科学会 ・日本心臓血管麻酔学会
- ・日本集中治療医学会 ・日本区域麻酔学会

耳鼻いんこう科 医長

青木 由宇

あおき よしたか



専門分野

耳鼻咽喉科一般

所属学会・資格

- ・日本耳鼻咽喉科学会（専門医）

脳神経外科 医師

木村 智輝

きむら ともし



専門分野

脳神経外科一般

所属学会・資格

- ・日本脳神経外科学会 ・日本脳卒中学会
- ・日本脳神経血管内治療学会

麻酔科 医師

青木 緑

あおき みどり



専門分野

麻酔全般

所属学会・資格

- ・日本麻酔科学会 ・日本臨床麻酔科学会
- ・麻酔科標榜医

耳鼻いんこう科 医師

宮本 大輔

みやもと だいすけ



専門分野

耳鼻咽喉科一般

所属学会・資格

- ・日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医）
- ・耳鼻咽喉科臨床学会 ・日本頭頸部外科学会
- ・日本気管食道科学会 ・日本内分泌外科学会
- ・日本甲状腺学会

皮膚科 医長

笠松 宏至

かさまつ ひろし



専門分野

皮膚科一般、膠原病

所属学会・資格

- ・日本皮膚科学会（専門医・指導医）
- ・日本アレルギー学会 ・日本皮膚免疫アレルギー学会
- ・日本研究皮膚科学会

救急科 医師

福本 雄太

ふくもと ゆうた



専門分野

救急医療

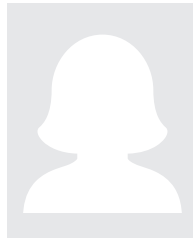
所属学会・資格

- ・日本救急医学会

歯科口腔外科 医師

深川 友里恵

ふかがわ ゆりえ



専門分野

一般歯科、歯科口腔外科

所属学会・資格

- ・日本口腔外科学会
- ・日本口腔ケア学会

泌尿器科 医長

大江 秀樹

おおえ ひでき



専門分野

泌尿器科

所属学会・資格

- ・日本泌尿器科学会（専門医） ・日本泌尿器内視鏡学会
- ・日本排尿機能学会



荻野 新

おぎの しん



大森 優樹

おおもり ゆうき



平泉 百伽

ひらいずみ ももか

研修医

medical intern

食生活と運動療法で便秘を改善しよう

便秘には様々な原因があり、症状によりいくつかのタイプに分けることができます。なかでも、慢性的な便秘には不規則な食生活や食物繊維の摂取不足、運動不足などが原因と言われ、食事や生活リズムを直すことで改善が期待できます。

食事が少なすぎると便の量も減るため、1日3回きちんと食事をとる事が大切です。朝食をきちんと取り、主食・主菜・副菜の揃ったバランスの良い食事をとりましょう。また、水分が少なくないと便が硬くなるため、水分補給も心がけましょう。

きつめの運動より、心地よいと感じる程度の運動(有酸素運動)のほうが、副交感神経が優位になります。また、日常で階段を使うように心がけたり、ウォーキングなら20〜30分を目安に歩くようにしましょう。

食物繊維はおなかの調子を整える作用があり、大きく水溶性食物繊維と不溶性食物繊維の2種類に分

けられます。水溶性食物繊維は、海藻類や果物などに多く含まれ、便を柔らかくするほか、善玉菌を増やし、腸内環境を良好に保つ働きがあります。一方で、不溶性食物繊維は野菜や豆類、きのこ類などに多く含まれ、水分の吸収や便のかさを増やして排便を促す働きがあります。これらはそれぞれ異なる働きをするため、2種類の食物繊維をバランスよく取り入れることが大切です。

1 食当たり生野菜なら両手一杯分、加熱野菜なら片手一杯分を目安に、毎日積極的に取り入れるよう心がけましょう。野菜の肉巻きや魚のホイル焼きなど主菜に加えたり、汁ものを具沢山にすると、手軽に野菜を摂取できます。時間や手間を省きたい場合は、カット野菜や冷凍野菜の活用、ひじき煮などの真空パック惣菜がおすすです。日々の食事に食物繊維を取り入れましょう。

(1) 腹式呼吸をしましょう

- ① 仰向けに寝て、膝を立てます。両手はおなかの上において、口からお腹の中の空気をしっかり吐き切ります。
 - ② 鼻から、お腹が膨らむことを意識しながら息を吸いましょう。
- ※3〜5回が目安です。やり過ぎると過呼吸になることがあるので注意です。

(2) 腹筋を使いましょう

- ① 仰向けに寝て、膝を立てます。両手を胸で交差します。
 - ② 肩から上半身を起こして、息を吐きながら肩甲骨を床から離し、5〜10秒間その形をキープします。
 - ③ 息を吸いながらゆっくり元に戻します。
- ※筋力をつけることが目的でないので、10回程度繰り返します。

(3) 体幹をねじりましょう

- ① 仰向けに寝て、膝を立て、両手は力を入れずに横に広げます。
 - ② 息をお腹いっぱい吸います
 - ③ 息を吐きながら、お尻だけを上げます。(約10秒間)
 - ④ ③のお尻を戻したら、そのまま膝だけを左にねじります。姿勢を10秒間キープしましょう。
 - ⑤ 膝を真上に向けて、姿勢を戻します。
 - ⑥ ⑤の膝だけを右にねじります。姿勢を10秒間キープします。
- 自然に呼吸しながら行います。

(4) 腹部に圧を加え、骨盤を動かしましょう。

- ① 仰向けに寝て、膝を立てます。次に、両膝を胸に寄せ、両手で抱えます。(10秒間)
- ② ①の最初に戻り、膝を両手で抱える動作を10回繰り返します。



寝た状態でできる運動

さらめき 市立敦賀病院 広報誌

発行：市立敦賀病院 / 企画・編集：市立敦賀病院広報委員会
©2022 市立敦賀病院
本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。



市立敦賀病院
公式ホームページ
<http://tsuruga-hp.jp>



編集後記

「さらめき49号」を最後まで読んでいただきありがとうございました。今回も大変お世話になりました。今回は新事業管理者及び両副院長のあいさつ、新任医師の紹介について取りあげました。今後も開業医の先生をはじめとした関係機関の皆様には更なる情報発信を、日頃から当院をご利用されている患者の皆様や地域の皆様には親しみやすさを感じていただけるような広報誌を目指していきたいと考えております。今後も広報誌「さらめき」をよろしくお願いたします。